

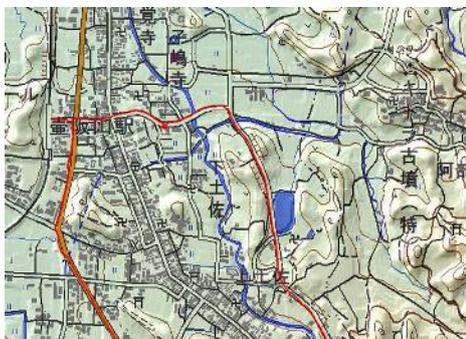
2018年7月9日(月) 晴れ後曇り一時雨
個人山行

奈良「高取山」
T.H/T.F/H.S 3名

コース距離： 11.8 km、 所要時間： 5時間07分 (休憩含む)

コースタイム： 壺阪山駅(10:44)→(11:10)清水谷→(11:44)壺阪寺→
(12:16)五百羅漢→(12:26)食事休憩(12:52)→(13:06)高取城址口→
(13:38)高取山→(14:07)国見櫓→(15:20)上子島→(15:38)観覚寺雨宿り
観覚寺雨宿り(15:48)→(15:51)壺阪山駅前

* 山行軌跡と行程グラフ



山行記： 近鉄京都駅でS氏と合流して橿原神宮前行に乗車する、橿原神宮前構内でF氏も合流して吉野線に乗換て壺阪山駅へ。

登山準備を終えて駅前を進み直ぐに右折して土佐街道を歩いていると思っていたが国道169号を歩いている清水谷の交差点で間違っていることに気付いて壺阪寺へ。

途中から旧参道に入って谷沿いの道を壺坂寺へ11時44分到着し休息を摂る、此処まででも汗が噴き出している。

壺坂寺境内には入らず車道を避けて五百羅漢を目指す、歩道登り口に大きなヤマユリが咲いている車道に出てから降りてこられる登山者とすれ違う、峠の手前で五百羅漢遊歩道に入る岩に石仏が彫られている標識がないと見落としてしまう。

遊歩道の途中で食事休憩を摂る、食事後高取山を目指していく、高取山は日本三大山城として認定されている山だ八幡神社には立ち寄らず進んで行くと車道に出るがすぐに高取城址への歩道に入る。

しばらく進むと史跡高取城址の石碑が建てられて石垣が観られるようになっていく、登り詰めて本丸跡に辿り着くここには三等三角点も設置されている。

本丸跡からは南側が展望でき方位盤も設置されている、石垣の淵より下を覗くとほぼ垂直の石垣だ、展望を堪能後下山開始する、本丸跡の入口に設置されている標識をよく見ると熊の立ち姿と天守閣が彫られている、二つとも一本の切り株を彫刻されて作られているのを見届ける。

下山道の途中に国見櫓に立ち寄る、此処からは北西方向の城下町が見渡せる展望場所になっている国見櫓から元の下山道に戻り下って行くと猿石に出会う猿石を過ぎると七曲の道をジグザグに下って行き上子島あたりで一息入れる。

下って行くと水車が回っているのを見ながら下って行き上子島分岐を左の道を進んで行く、此処でも道を間違えて土佐街道が歩けていない観覚寺で左折して駅に向かう途中で雨に降られ雨宿りを余儀なく通りの家のガレージを拝借する。

雨が小止みになり駅に向かう土佐街道を横切り駅前の食堂に入り一息入れて帰途に就く。



壺阪山駅前



壺 阪 寺



山 ゆ り



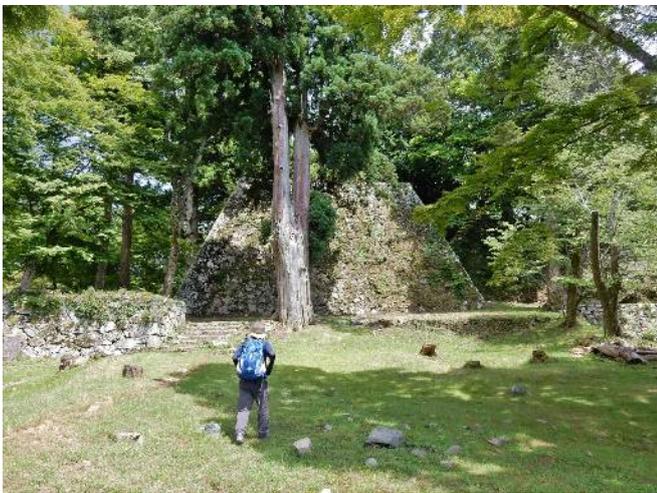
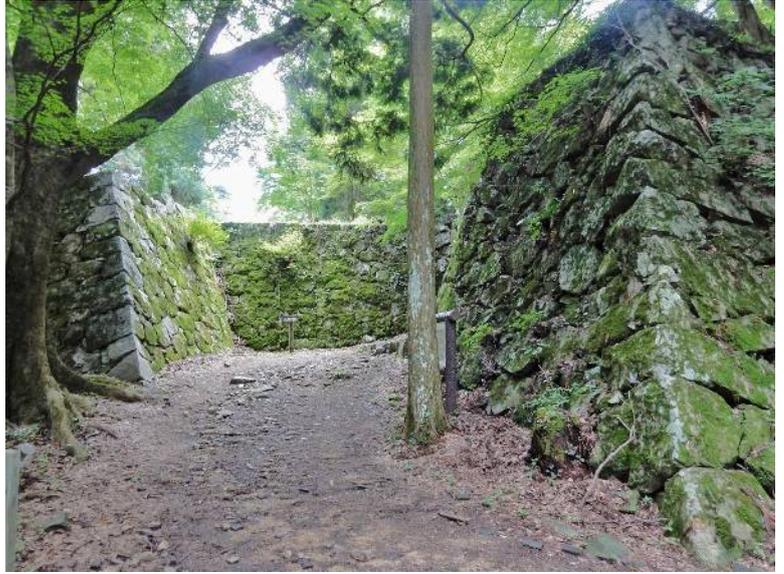
壺 阪 寺



石 碑



壺 阪 口 門 跡



残 っ て い る 石 垣 郡



切り株の彫刻



高取山の三等三角点



山頂の方位盤



高見山を望む



高取山からの展望



国見櫓からの展望
(城下町を望む)



猿 岩



宗泉寺への分岐



水 車 小 屋